

理窓教育会の組織と活動

—助け合い高め合う卒業生—

東京理科大学 総合教育機構 教職支援センター 小久保 正己

はじめに

東京理科大学出身の教師はバイタリティがあり研究熱心だといわれます。それは東京物理学校以来の建学の精神「理学の普及」が受け継がれ、理数教育を中心に全国的にレベルアップを図ろうと取り組む姿勢が、卒業生一人一人に息づいているからです。まさに「坊っちゃん」の遺伝子が受け継がれているのです。また、このことを推進していく大学や同窓会（理窓会、理窓教育会）の取り組みがしっかりと根付いているのが大きな特徴です。

こうしたことを可能にするのが「実力主義」の伝統です。理学部等で専門教科の基礎・基本をしっかりと身に付けた卒業生が、教育の課題解決に向けて情熱を燃やすのです。そして、全国各地の同窓教員が切磋琢磨して、理数教育の、さらに教育界のリーダーとして成長していくのです。

明治22年に東京物理学校同窓会がつけられ、「東京物理学校雑誌」が発行されています。全国の同窓教員は都道府県単位で組織されて、交流や活動をしていました。

そこで東京理科大学は平成3年4月に、現職教員の研修、交流・情報交換の組織として「東京理科大学教育会」を設立し、全国組織としました。その後、平成16年に「東京理科大学理窓教育会」と名称変更されました。

理窓教育会の組織

全国を10地区に分けて副会長を置き、各都道府県には支部が置かれています。各支部が

行う総会や講演会では、常に地域の教育課題の解決方法や都道府県の教育委員会の諸施策の方向性を学ぶこと等を熱心に研修しています。

現会長は富岡康夫（東京支部長、私立文華学園女子中学・高等学校長）です。富岡会長は、元日本理化学協会会長でSSHなど理科教育の振興に長く関わっています。

同窓高等学校校長会

全国には公立私立を合わせて約100名の同窓高等学校長がいます。例年、全国高等学校長協会の総会が開催される日に合わせて、東京理科大学が全国の同窓高等学校長を招いて、懇談会を行っております。今年度は5月21日に、さいたま市のパイオランドホテルで行われました。同窓校長を代表して、埼玉県立熊谷西高等学校の本多昇校長（理窓教育会埼玉支部長）が挨拶を行いました。

こうした機会を利用して、富岡会長をはじめ、理窓教育会の理事たちが各県の同窓校長たちと連絡を取り合い、情報交換と組織の活性化に努めています（写真）。

各支部の活動

理窓教育会の各支部では、理窓会の支部総会に合わせて、当日の午前に理窓教育会の支部総会を開催したり、合同で開催したりしています。

そして、各支部の教育関係者が連絡を取り合い、後輩の動向を把握し、直接間接に支援



同窓校長会の集合写真

したりしています。個人では解決できない課題を先輩の経験を活かして解決できたことや、数学・理科に関する新たな指導方法の開発等に活かしていることをよく伺います。

ちなみに東京支部では毎年、教育管理職選考受験者を集めて、二次選考（面接）の指導を行っています。同窓の管理職経験者から親身の指導を受けることによって、理大のDNAが改めて認識され、後輩へ確実に受け継がれていきます。

大学との連携（事業への協力）

グローバルサイエンスキャンパス（GSC）は、国際レベルの理数力を持つ、次世代科学者リーダーの養成を目指す取り組みで、大学が直接、高校生を募集し、高度で体系的な理数教育を行うものです。このためには、意欲ある高校生を推薦し継続的に支援していく高校の協力が不可欠です。理窓教育会として、同窓教員への働きかけをしていきます。

新規採用教員予定者の激励会

毎年3月には、理事長や学長、理窓会会長等をお招きし、新規採用教員予定者激励会を開催し、教員生活のスタートを大勢の会員で祝福しています。

坊っちゃん科学賞（高校部門）研究論文コンテスト

東京理科大学・理窓会は高校生の理数の研究論文発表会を開催し、意欲のある高校生に活躍の場を提供しています。

コンテスト実施に関する論文審査や準備等を理窓教育会が中心になって行っています。

理数研の活動

同窓の数学教員を中心とした研究組織に、56年の歴史をもつ「東京理科大学数学教育研究会」（理数研）があります。同窓の先輩後輩と大学の先生方が一堂に会して、数学教育の研究に取り組んでいるのです。

こうした土壌の上に、本学には、日本で初めての数学教育研究所がつくられ、理数教育研究センターとして発展しています。また、大学院には理学研究科理数教育専攻が設置されていて、現職の教員が修士を取得したり、博士課程に進んだりしています。さらに、数学科の教員を顕彰する「数学・授業の達人」大賞コンテストにも発展しています。

まとめ

理窓教育会は今後とも大学・理窓会と連携協力し、全国のネットワークを活かして全力で取り組んでいきたいと考えます。